



ロシアNIS経済速報

一般社団法人 ROTOBO

2026年(令和8年)1月25日号 No.2013

目次

■ プーチン大統領による2025年の総括	1
■ 『ロシアNIS調査月報』2026年2月号のご紹介	7
■ 統計速報	8
2025年1～10月のロシアの貿易 / 8	
■ トピックス	9
昨年の中ロ貿易、5年ぶりに減少 / 9	
EU、ロシア産石油製品の価格上限を2月から改訂へ / 9	
モルドバ、CIS脱退手続きを開始 / 9	

プーチン大統領による2025年の総括

はじめに

2025年12月19日、ロシアのプーチン大統領は、かつて毎年の恒例行事となっていた「大規模記者会見(Большая пресс-конференция)」と「国民との直接対話(Прямая линия с Владимиром Путиным)」を合わせた新しいプログラム「プーチン大統領による1年の総括(Итоги года Владимиром Путиным)」を開催した。2001年以来、「大規模記者会見」は17回、「直接対話」は18回開催されたが、2021年6月末の「直接対話」を最後にウクライナ侵攻後は開かれていなかった。しかし、2023年に新しいプログラムとして再開した。「プーチンによる総括」はガスチヌイ・ドゥヴォールにおいて、国内外の記者と対面で会見を行うと同時に、特設のコールセンターおよびサイト(moskva-putinu.ru)、SNSで一般国民からの質問を受け付け、会見の中で大統領が回答する。会見の様子は「ロシア1」などのロシアの主要テレビ、ラジオ、SNS、オンラインメディアで生放送され、非友好国メディアを含む約600人の記者が会場で参加した。

プーチン大統領は約4時間半の会見で、ウクライナでの「特別軍事作戦」、ロシア国内の経済・社会問題、外交・国際関係など300万件以上の中から77の質問に回答した。以下では、今回のプーチン大統領の主な発言要旨をテーマ別に整理しておくことにしたい。なお、記者会見の全容はクレムリンのウェブサイトに掲載されているので、ご関心の向きにはそちらをご覧ください。

(http://www.kremlin.ru/events/president/transcripts/press_conferences/78815)